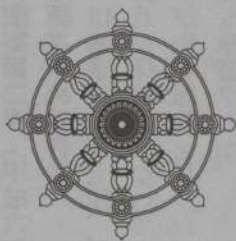


1961年1月16日第3種郵便物認可 1995年8月1日 第410号 (毎月1回1日発行1部50円)

(加盟団体関係者の購読料については、負担金に含まれている。)



# 全 仏

仏暦2538年8月  
(1995年)

NO. 410



大阪・東淀川高校で行なわれた阪神・淡路大震災復興支援イベント  
(関連記事14頁)

財団法人 **全日本仏教会**

JAPAN BUDDHIST FEDERATION

# 理事会開催

去る五月三十一日午後二時から、京都グランド・ホテルで、理事会が開催された。伊藤理事長を議長に、北條成之、江川辰三の両師を議事録署名人を選んで、議事に入った。

**議案第一号「平成六年度事業報告について承認を求める件」**

伊藤議長より上程、菅野総務部長が説明、原案通り承認された。

**議案第二号「平成六年度収支決算について承認を求める件」**

伊藤議長より上程、鷺尾財務部長が収支決算及び保管金について、詳細に説明、浅井監事が監査報告を行った。質疑応答の後、原案通り承認された。

**議案第三号「阪神・淡路大震災義援金支出の承認を求める件」**

伊藤議長より上程、鷺尾財務部長が説明、質疑応答の後、原案通り承認された。

**協議事項一「阪神・淡路大震災について」**

伊藤同和推進部長が大震災への、本会の対応を詳細に報告、出席者から種々の意見や提案が出された。

**協議事項二「第七回加盟団体代表者同和研修会について」**

伊藤同和推進部長が、本年度は「差別法・戒名の早期改正のための方途」をテーマに開催する予定である旨を報告、協力を要請した。

**協議事項三「ルンビニー園マヤ堂修復事業の現況と今後について」**

川井ルンビニー委員長が、マヤ堂考古学調査の現況を報告。出席者より活発な質問・意見が出された。

**報告事項一「指定寄付金について」**  
鷺尾財務部長より、指定寄付金の制度が説明された。

**報告事項二「仏教国会議員懇話会について」**  
菅野総務部長より、去る三月二十七日開催された「仏教国会議員懇話会」設立世話人会について、報告された。

**報告事項三「第三十六回全日本仏教徒会議埼玉大会について」**

森山埼玉県佛教会事務局長より、来る十月五日開催予定の全日本仏教徒会議埼玉大会について、説明が行われた。

**報告事項四「宗教学人審議会について」**

伊藤理事長が、四月二十五日に開催された宗教学人審議会の概要を報告した。

暑中お見舞い  
申し上げます

財団法人 全日本仏教会

会長 中村康隆

副会長 高井隆秀

吉田俊誉

岩崎宗秀

江連俊則

伊藤治雄

理事 一同

事務総長 白幡憲佑

事務総局職員一同

## 平成6年度 財団法人全日本仏教会 収支決算

## I. 収入の部

(単位:円)

科 目			予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
款	項	目				
1. 負担金			93,980,000	92,433,061	1,546,939	
	1. 宗派負担金		84,067,000	83,253,061	813,939	
	2. 都道府県仏教会負担金		8,694,000	8,064,000	630,000	
	3. 各種団体負担金		1,219,000	1,116,000	103,000	
2. 未納徴収金			1,000,000	453,000	547,000	
3. 寄付金			1,000,000	769,000	231,000	
4. 基金果実			700,000	452,839	247,161	
5. 雑収入			3,500,000	4,568,337	△1,068,337	「全仏」誌協賛金、手帳代等
当期収入合計 (A)			100,180,000	98,676,237	1,503,763	
前期繰越収支差額			10,000,000	10,914,256	△914,256	
収入合計 (B)			110,180,000	109,590,493	589,507	

## II. 支出の部

(単位:円)

科 目			予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
款	項	目				
1. 事務総局費			76,720,000	74,826,096	1,893,904	
	1. 人件費		55,420,000	54,745,057	674,943	
		1. 給 与	42,400,000	42,400,000	0	本給
		2. 手当	7,660,000	7,567,196	92,804	職務手当、通勤費
		3. 厚生費	2,800,000	2,217,861	582,139	健康保健、厚生年金等
		4. 退職積立金	2,560,000	2,560,000	0	
	2. 事務費		12,700,000	11,739,999	960,001	
		1. 借室費	4,600,000	4,300,000	300,000	
		2. 光熱費	1,700,000	1,695,429	4,571	
		3. 通信費	2,000,000	1,494,438	505,562	
		4. 印刷費	1,300,000	1,273,705	26,295	予決算書等
		5. 備品費	1,700,000	1,588,998	111,002	事務機リース代等
		6. 諸費	1,400,000	1,387,429	12,571	事務用品費、新聞購読料等
	3. 旅費		3,300,000	3,283,980	16,020	出張旅費
	4. 共通事項処弁費		3,300,000	3,057,060	242,940	日宗連関係費、顧問弁護士料他
	5. 関西事務局費		2,000,000	2,000,000	0	
2. 総務部費			6,400,000	4,071,440	2,328,560	
	1. 会議費		3,600,000	2,159,097	1,440,903	
		1. 理事会費	1,400,000	767,871	632,129	
		2. 評議員会費	500,000	367,212	132,788	
		3. 諸会議費	1,700,000	1,024,014	675,986	各種会議費
	2. 渉外費		1,800,000	1,367,453	432,547	慶弔費等
	3. 調査研究費		1,000,000	544,890	455,110	資料費、仏教国会議員懇話会費等
3. 財務部費			1,700,000	719,313	980,687	
	1. 税務対策費		1,700,000	719,313	980,687	税務委員会費等
4. 同和推進部費			6,000,000	5,115,237	884,763	
	1. 同和推進費		4,000,000	3,348,158	651,842	加盟団体代表者同和研修会費等
	2. 同和委員会費		2,000,000	1,767,079	232,921	同和委員会費、業・施設問題研究会費等
5. 社会部費			9,500,000	7,946,932	1,553,068	
	1. 時局対策費		1,500,000	428,690	1,071,310	信教の自由に関する委員会費等
	2. 組織強化費		2,500,000	2,019,270	480,730	
		1. 組織強化費	1,500,000	1,019,270	480,730	都道府県仏教会代表者会議費、教化セミナー開催費等
		2. 全日本仏教会議積立金	1,000,000	1,000,000	0	
	3. 機関誌発行費		5,500,000	5,498,972	1,028	「全仏」誌印刷・発送・取材経費
6. 国際文化部費			6,000,000	4,697,534	1,302,466	
	1. 国際交流費		5,500,000	4,697,534	802,466	
		1. 国際交流費	3,000,000	2,198,333	801,667	国際委員会費、WFBバンコク大会諸費等
		2. WFB関係費	2,500,000	2,499,201	799	WFB執行委員会・バンコク大会参加経費
	2. 文化諸費		500,000	0	500,000	
7. 基本金繰入金			500,000	500,000	0	
8. 子備費			3,360,000	213,300	3,146,700	事務引継に係る手当・旅費等
当期支出合計 (C)			110,180,000	98,089,852	12,090,148	
当期収支差額 (A)-(C)			△10,000,000	586,385	△10,586,385	
次期繰越収支差額 (B)-(C)			0	11,500,641	△11,500,641	

## 教化セミナー

## オウム真理教の実態について

チベット文化研究所長 ペマギャルポ

本会の教化セミナーが、さる六月十九日午後二時半から、東京の真言宗豊山派宗務所会議室を会場に開催された。百余名の参加者を得た今回のセミナーでは、チベット文化研究所長のペマギャルポ氏が「オウム真理教の実態について」というテーマで要旨次のような講演を行った。

☆ ★ ☆  
(文責・社会部)

ただ今ご紹介いただきましたペマギャルポです。私は仏教学者でもオウムの研究者でもありませんが、仏教やチベット仏教とオウムとの関わりについて、私の知り得る範囲内



ペマギャルポ氏

で説明したいと思えます。

実は、麻原代表ら幹部がインドを訪れた際に、チベット亡命政府の宗教庁に紹介状を書いたのは私なのです。ですから、私個人にもオウムに対して「仏教の名を汚さないでほしい」という責任があるのです。

オウムとの出会いは、一九八七年か一九八八年に「インドへ行きたいんだけど」という電話をいただいて、お会いしたのがはじめなのです。そのときの麻原さんは熱心な修行者のように見受けられました。非常に謙虚で、あのような姿ですので親しみを感じました。それに、日本とチベットは同じ仏教国という点で兄弟のような関係ですが、もしかしたらより身近な関係が築けるかも知れない、という思いもありました。

そこで、彼がいうには「自分のヨガがどのくらいできているか、チベットの高僧に見てもらいたい」ということでした。その結果、少なくとも瞑想に関してはたいへん経験を積

んでいる、ということでは法王にお目にかかりました。帰国後も丁寧なお礼状をいただいたりしましたので、悪い印象はなかったのです。

それから、数カ月して亡命政府の宗教庁長官が来日した際に、青山のオウムの事務所を訪ねたのですが、段ボールなんか積んであって、なんだか会社みたいな雰囲気でした。

応接間に通されるとシバ神の大きな写真が飾ってあって、小声で「ご本尊はないんですか」と聞いたなら「シバ大神です」とはっきりいい張ったんです。もちろんチベット仏教でもシバ神を守護神として祭ることはあります。しかし、教えの根本は仏法僧に帰依することですから、これはちょっと問題かな、と疑問を感じたのです。

その後、疎遠になっていたんですが、一九八九年にオウムの被害者の会の人たちとお会いして、血のイニシエーションなる儀式で最終解脱者と称する教主の血を飲ませて、お金を取っているということと、グライラマ法王が麻原教主に対して「あなたは仏陀である」とか「日本で正しい仏教を広めなさい」などといった、とかいいうことを聞いて心配になりいろいろ調べました。そして、オウムとは関わらない方がいいということとを亡命政府の本部にも伝えました。

麻原教主にも確か手紙を書いたりしたんで

すが、埒があかないのでフジテレビの番組で「グライマ法王は自分自身を仏だなんでおっしゃったことはない。それなのに他人に対して、あなたは仏です」とかいうことをおっしゃるはずがない」と断言したんです。そのとき麻原さんの方は特別の椅子を運んできた、權威主義的に変わってしまったって、なんだか寂しく感じました。ほかに青山さんたちがきていましたが、私がなにか話そうとすると、向こうは三、四人で一斉に喋って邪魔するんですよ。ですから、あなたたちが麻原教をやるのなら勝手ですが、仏教やチベット仏教を名乗るのはやめてください、といったんです。

確かに、はじめにグラムサラを訪問して以来、経典の研究とか文献を買い込んで勉強をしていたようです。それに、オウム教団は亡命政府にかなりの金額の寄付をしているようです。その点ではチベット仏教はオウムに関わったという事実を認めなければなりません。しかし、世の中はお金で何でもできる、という考えがあったみたいです。ブツダガヤの玉座に座って警察沙汰になったそうです。多額の寄付をしたからそのくらいは当たり前だと思っていたようです。

ところが、麻原さんは教えを受けた高僧が亡くなったときには、インドまでお葬式に行っているのです。だから一概におかしいことば

かりではなく、人間的な常識もあつたんです。

最近の子供でもゴキブリを殺す前に「ポアしよう」というようですが、チベット仏教ではけっして「邪魔になった者を消す」などという意味では使いません。自分が死んでから意識を浄土に送るといふ修行の意味で使う言葉です。チベット仏教だけでなく、最近キリスト教やヴァジリヤーナの言葉も乱用もして、麻原さんのやっていることは、ヨガ、仏教、ヒンドゥー教、最後はイエス様まで入れて、主体がはっきりしません。日本でよく聞く「国際化」と似ているような気がします。すべての宗教に共通していることは、愛とか慈悲だと思えますが、薬に例えれば、頭痛の薬で腹痛を治せないのと同様に、歴史背景や民族や自然環境などの違いによって、さまざまな宗教があつて、それぞれの特徴を生かしながら、互いに認めあつていくことが宗教の共存共栄の道だと思えます。ゴチャマゼにすることは国際化でもないし、いいことでもないと思うんです。

オウムの問題は表に出ていること以外は追及できなくなると思えます。というのは、政治も絡んでいるし国際間の問題にも発展するでしょうから、真実をすべて公にすることはできないでしょう。オウム問題の背景には、世界の冷戦構造の崩壊と、バブル経済の波に

のつた人々が巻き込まれたということ、さらに日本の政治家が、便利屋的な仕事をして票を集めなければならぬ実態などがあると思います。このへんがどこまで解明されるのか、あるいは解明されたいのかは私にもわかりません。ただチベット仏教との関わりについては今日申し上げたとおりです。

しかし、日本の宗教界の指導者の方々は、この問題についてもっと深刻に研究していただいた方がよいような気がします。最近、宗教法人法を改正すれば全てが解決するような論調が目立っていますが、マスコミは、日本のお坊さんが個人としては税金を払っていることなどはほとんど報道しないですよ。仏教界としてもオウムの問題について、正式に態度を明らかにしなければならぬ時期にきているのではないかと思います。

私は時々テレビに出る機会を得たり、外国人ということで注目されたりしますから、仏教徒の立場で発言していますが、一人の人間にできることは限りがあります。これから、教義や事件の背景が問題になってくると思えます。そうなれば社会に大きな影響を与えることになるでしょう。そうなる前に仏教の立場というものを明らかにしてほしいと思います。

# 暑中御見舞い申し上げます

臨済宗妙心寺派  
宗務本所

管 長 松 山 寛 惠	宗務総長 小 倉 宗 徳	総務部長 羽 賀 文 主	教学部長 大 野 鎧 宗	財務部長 本 多 道 一	花園会長 宮 田 正 勝	本部会長 森 弘 宗	法務部長 森 弘 宗	花園会長 源 確 嶺	館部長 源 確 嶺	△大法会事務局▽		副委員長 橋 本 玄 進	副委員長 細 川 景 一	総務部長 山 中 清 洲	管待部長 山 本 健 史	募財部長 中 島 義 観	会計部長 高 橋 基 丈
-------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	------------	------------	------------	-----------	----------	--	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------

〒616 〇七五(四八三)三二二一  
京都市右京区花園妙心寺町六四

曹洞宗宗務庁

管 長 梅 田 信 隆	宗務総長 大 竹 明 彦	参 議 田 邊 哲 崖	参 議 岡 田 巳 成	教学部長 佐 々 木 孝 一	総務部長 伊 藤 襄 爾	財政部長 有 田 恵 宗	人事部長 洞 外 文 隆	出版部長 檀 上 尚 道	伝道部長 村 松 了 章	教化部長 佐 藤 良 彦
-------------	--------------	-------------	-------------	----------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------

〒105 〇三(三四五四)五四二一  
東京都港区芝一五二

浄土真宗本願寺派

総 務 長 松 村 了 昌	総 務 長 黒 山 秀 行	同 武 野 以 徳	同 北 島 經 昭	同 吉 井 智 見
---------------	---------------	-----------	-----------	-----------

〒600 〇七五(三七一)五一八一  
京都市下京区堀川通花屋町下ル  
本願寺門前町

総本山金剛峯寺  
高野山真言宗宗務所

座長 稲 葉 義 猛	管長 新 居 祐 政	宗務総長 田 岡 照 遍	執行部長 岩 坪 眞 弘	執行部長 安 芸 昌 憲	執行部長 山 口 耕 榮	執行部長 葛 西 光 義	山部部長 常 岡 弘 雄	内務部長 山 花 義 宥	総務部長 山 花 義 宥	企画部長 山 花 義 宥	同和局長 佐 々 木 兼 俊	教学部次長 長 尾 恵 證	東京別院主幹 長 壽 山 良 知	東京宗務出張所々々長 長 壽 山 良 知	堀川別院主幹 佐 々 木 弘 傳	京都宗務出張所々々長 佐 々 木 弘 傳	高野山弘法大師奉賛会東京事務所々々長 服 部 融 宣
------------	------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	----------------	---------------	------------------	----------------------	------------------	----------------------	----------------------------

〒648 02 〇七三六(五六二)〇一一  
和歌山県伊都郡高野山一三二

# 暑中御見舞い申し上げます

東京都大田区池上1-32-1-15 〒146 〇三(三七五)七一八一 FAX 〇三(三七五)七一八六	宗務総長 奥 邨 正 寛	管 長 岩 間 日 勇	日蓮宗宗務院									
京都市東山区東大路七条下ル 東瓦町九六四 〒605 〇七五(五四)五三六一	宗務出張所長 別院執事 磯 山 福 正	教化部長 田 中 聖 賢	財務部長 中 村 義 英	執教学部長 真 保 龍 敞	執法務部長 白 石 大 峰	執総務部長 峯 嶋 能 忍	宗務総長 上 村 正 剛	化管 主長 高 井 隆 秀	真言宗智山派宗務庁 総本山智積院法務所			
京都市下京区烏丸通り七条上ル 常葉町七五四 〒600 〇七五(三七)九一八一	同 三 浦 崇	同 藤 田 智 賢	同 岡 川 秀 映	同 加 藤 真	参 務 調 紀	宗務総長 能 邨 英 士	真宗大谷派					
(東京事務所) 東京都港区芝公園四一七一四 〒105 〇三(三四三六)三三五一	京都市東山区林下町四〇〇一八 〒605 〇七五(五二五)二二〇〇	出版室長 小 林 正 道	同和推進 事務局参与 蓮 池 瑞 旭	総長公室長 近 藤 正 也	東京事務所長 齊 藤 价 洲	同和推進 事務局長 江 口 定 信	社会局長 桑 原 法 道	財務局長 吉 田 昭 炳	総務局長 山 田 瑞 祥	宗務総長 成 田 有 恒	浄土門主 中 村 康 隆	浄土宗宗務庁

# 暑中御見舞い申し上げます

## 天台宗務庁

天台座主 梅山 圓了

宗務総長 杉谷 義純

参務部長 山田 俊和

参人部長 山本 堯俊

参務部長 植田 惠秀

参学部長 小川 晃勝

参社会部長 山田 能裕

一隅を照らす  
運動総本部長 獅子王 圓泰

〒520-0101 大津市坂本四丁目六番二号  
〇七七五(七九)〇〇三二

## 真言宗豊山派宗務所

管長 吉田 俊譽

宗務総長 川田 聖定

教務部長 小野塚 幾澄

総務部長 若槻 繁隆

財務部長 浅井 侃雄

教化部長 杉山 康信

教化センター長 正城 宥基

教化センター  
事務局長 田代 弘興

〒112 東京都文京区大塚五丁目四〇一八  
〇三(三九四五)〇六三九

信貴山真言宗  
総本山信貴山朝護孫子寺

代表管長 野澤 密巖

管長 鈴木 鳳永

管長 田中 真瑞

宗務長 鈴木 貴晶

奈良県生駒郡平郡町信貴山

〒636 〇七四五(七二)二二七七

真言宗善通寺派宗務庁  
総本山善通寺

法管主 蓮生 善隆

宗務総長 高吉 清順

香川県善通寺市善通寺町  
〒765 〇八七七(六二)〇二一一

浄土宗西山深草派  
総本山誓願寺

法管主 長 鶴飼 慶範

宗務総長 深津 実乗

京都市中京区新京極桜之町四五三  
〒604 〇七五(二二)〇九五八

本門佛立宗  
本山宥清寺

講 有 御牧 日勤

宗務総長 小山 日誠

京都市上京区御前通一条上る  
東笠町一〇番地  
〒602 〇七五(四六一)一一六六

# 暑中御見舞い申し上げます

〒611 宇治市五ヶ庄三番割三四 ○七七四(三三二)三九〇〇	庶務部長 武内修邦	財務部長 安部梁解	宗務総長 乾隆俊	管 長 林文照	黄檗宗大本山萬福寺
〒616 京都市右京区御室大内三三 FAX ○七五(四六一)一一五五 ○七五(四六四)四〇七〇	執行部長 佐伯増恒	執学部長 高松龍暉	執行部長 堀川和海	執行部長 倉信隆源	管門 長跡 吉田裕信 真言宗山御仁室和派
社団法人 全日本仏教婦人連盟 名誉会長 一條智光 会長 山本杉 理事長 友廣和 専務理事 島田喜久子 事務局長 林 恵智子 東京都豊島区北大塚二ノ一ノ一 大塚アラザビル7F 〒170 〇三(三九一)一二八九 分室 東京都新宿区西新宿一ノ二五 新宿センタービル37F (INNA生保内) 〒 〇三(三三四四)六七九四	宗務総長 虎山秀禪	管 長 塩澤大定 臨濟宗南禅寺派			
念法眞教団 総本山金剛寺 燈 主 小倉靈現 〒538 大阪市鶴見区緑三十四一三二 ○六(九一一)二二〇一	副統理 岡野鄰子	統 理 岡野正貫 孝道山本仏殿 〒221 横浜市神奈川区鳥越三八 ○四五(四三二)一一〇一			

# 暑中御見舞い申し上げます

## 愛媛県仏教会

会 長 植田英瑞  
副会長 谷本祥龍  
同 吉川俊宏  
監 査 一ノ宮惠然  
同 藤方大進  
事務局 長 高木英教  
会 計 松本信見  
役員 一同

松山市南吉田町一三〇六  
極楽寺内  
〒791 〇八九九(七二) 二三七八

## 京都府仏教会

会 長 東伏見慈治  
理事長 有馬頼底  
常務理事 大島亮準  
同 清瀧智弘  
同 荒木元悦  
同 理事 平野咲哉  
同 大西真興  
同 江上泰山  
同 田辺瑚海  
同 宮城泰年  
同 岡 辨有

京都市上京区今出川通烏丸東入  
相國寺門前町六八四一  
〒602 〇〇七五(二三三) 六九七五  
FAX 〇〇七五(二三三) 六九七六

## 茨城県仏教会

会 長 鷺森了元  
副会長 猪瀬宝山  
副会長 野渡泰善  
事務総長 青木英暢

茨城県行方郡潮来町潮来一〇〇八  
浄国寺内  
〒311-24 〇一九九(六二) 二六三三四

## 東京都仏教連合会

会 長 宮部亮信  
理事長 白川謙敬  
事務局 長 加藤隆宣

東京都品川区西五反田  
三〇三(三三三) 二五七一  
〒141 〇〇三三(三三三) 二五七一  
FAX 〇〇三三(三三三) 二五七一

## 愛知県仏教会

会 長 江川辰三  
副会長 牧忍教  
同 岩田文有  
同 玉井康之

名古屋市中区新栄一―二―二  
曹流寺内  
〒460 〇五二(二四一) 四七二二

## 兵庫県仏教会

会 長 高見寛康  
副会長 大谷昭世  
同 広瀬照晴  
事務局 長 市村隆玄

神戸市灘区原田通三丁目五―十八  
金剛福寺内  
〒657 〇七八(八六一) 四〇四四

## 岐阜県仏教会

岐阜市西野町三一―一  
本願寺岐阜西別院内  
〒500 〇五八(二六六) 七八〇三

## 京都府仏教連合会

理事長 牧達雄

京都市東山区林下町四〇〇  
知恩院(庶務部内)  
〒605 〇七五(五三一) 二二一一

# 暑中御見舞い申し上げます

<p>〒108 東京都港区芝四丁目三番一四 〇三三四五五 五八五一</p>	<p>同 坂東惟宣 同 井上信一</p>	<p>監事 芝田徹男</p>	<p>常務理事 高島孝範</p>	<p>同 松村了昌 同 田辺哲崖</p>	<p>同 吉國二郎 同 松原泰道</p>	<p>理事 中村元 理事長 長尾雅人</p>	<p>會長 沼田智秀</p>	<p>財団法人 仏教伝道協会</p>			
<p>〒336 浦和市高砂四丁目三番一八 FAX 〇四八八六一 二一三八 〇四八八六四 六六四九</p>	<p>事務局長 森山達夫</p>	<p>同 金子泰嶽</p>	<p>同 増田定栄</p>	<p>同 萩野映明</p>	<p>同 酒井文雄</p>	<p>専務理事 目黒靖淳 副会長 河野亮永</p>	<p>會長 江連俊則</p>	<p>財団法人 埼玉県佛教会</p>			
<p>〒940 長岡市上田町二丁目三五 〇二五八 三三三 一五八六 徳聖寺内</p>	<p>事務局長 小林秀徳</p>	<p>同 今湊良敬</p>	<p>同 高橋透龍</p>	<p>同 春日浩三</p>	<p>同 中島裕幸</p>	<p>副会長 井口能晁</p>	<p>會長 中村啓識</p>	<p>新潟県仏教会</p>			
<p>〒193 東京都八王子市高尾町二丁目一七 〇四二六 六一 一一一五</p>	<p>山主 大山隆玄</p>	<p>大本山高尾山薬王院</p>	<p>〒286 千葉県成田市成田一 〇四七六 〇二二 二二一一</p>	<p>貫首 照碩</p>	<p>大本山成田山新勝寺</p>	<p>〒174 東京都板橋区舟渡四丁目一五 〇三三九六七 三二八八</p>	<p>理事長 中山静麿</p>	<p>財団法人 日本佛教鑽仰会</p>	<p>〒060 札幌市中央区北三条西十九丁目一 本願寺札幌別院内 〇二一 六一 九六三三</p>	<p>會長 立森成芳</p>	<p>北海道仏教会連盟</p>

# 暑中御見舞い申し上げます

真言宗豊山派  
総本山長谷寺

化 主 吉 田 俊 譽

事務 長 三津田 辨 秀

総務 執事 渡 邊 隆 榮

教務 執事 伊 東 聖 純

法務 執事 高 梨 堅 堂

財務 執事 田 嶋 信 雄

執 事 東京出張所 長 三 方 秀 峰

奈良県桜井市初瀬七三二一  
〒633-0107 四四四(七)七〇〇一  
FAX 〇七四四四(七)七七一一

西 新 井 大 師

總 持 寺

東京都足立区西新井一―一五―一  
〒123 〇三(三八九〇)二三四五

曹洞宗大本山永平寺

貫 首 宮 崎 奕 保

福井県吉田郡永平寺町志比

〒910-12 〇七七六(六三)三一〇二  
五十五  
三二〇三

曹洞宗大本山總持寺

貫 首 梅 田 信 隆

横浜市鶴見区鶴見二―一―一  
〒230 〇四五(五八二)六〇二一

浄土宗總本山  
知 恩 院

門 跡 中 村 康 隆  
執 事 長 寺 本 哲 榮  
内 局 一 同

京都市東山区林下町四〇〇  
〒605 〇七五(五三二)二二一一

聖観音宗 浅草寺

貫 首 壬 生 台 舜  
執 事 長 小 岩 井 貫 承

東京都台東区浅草一―三―一  
〒111 〇〇三(三八四二)〇一八一  
FAX 〇〇三(三八四五)六九三三

真言宗中山寺派

大本山 中 山 寺

兵庫県宝塚市中山寺一―十一―一  
〒665 〇〇七(七七)八六五―七七  
FAX 〇〇七(七七)八七九―七七

妙 見 宗

管 長 野 間 秀 昭

大阪府豊能郡能勢町野間中七―一―八  
〒563-0101 〇七二(七七)三三七〇〇二八

法相宗宗務所

貫 管 首 長 多 川 俊 映

奈良市登大路町四八 興福寺内  
〒630 〇七四(二二二)七七五五

# 暑中御見舞い申し上げます

<p>〒104 A210 X 川崎市川崎区大師町四十四番地 〇〇四四二二六六三 〇四四二二七七八一六三</p>	<p>常務 野沢宏孝</p>	<p>常務 筒井豊也</p>	<p>執事 寺田隆明</p>	<p>執事 網野沢隆幸</p>	<p>院代 原隆愿</p>	<p>総務 馬本克美</p>	<p>貫首 高橋隆天</p>	<p>真言宗智山派 大本山 川崎大師平間寺</p>
<p>〒231 横浜市中区大平町九六番地 〇四五(六六一)〇西有寺内</p>	<p>事務局長 本間孝康</p>	<p>同 佐藤行信</p>	<p>同 柳下隆侃</p>	<p>同 横山敏明</p>	<p>副会長 小崎龍雄</p>	<p>會長 長福永隆昭</p>	<p>神奈川県仏教会</p>	
<p>〒153 東京都目黒区中目黒 五二四一五三 祐天寺内 〇三(三七一一)七六〇八</p>	<p>名譽総裁 中村康隆</p>	<p>理事 長川井匡俊</p>	<p>印度山 春見文勝</p>	<p>日本寺竺 役員一同</p>	<p>財団法人 国際仏教興隆協会</p>	<p>山梨県身延町身延三五六七 〒409-25 〇五五六(二)〇一一代</p>	<p>法主 岩間日勇</p>	<p>日蓮宗総本山 身延山久遠寺</p>
<p>〒146 A X 東京都大田区池上一一三番地 〇三(三七五二)三三三 〇三(三七五二)三三五〇</p>	<p>貫首 田中日淳</p>	<p>日蓮宗 大本山 池上本門寺</p>	<p>山主 余語翠巖</p>	<p>大雄山最乗寺</p>	<p>栃木県日光市山内二二〇番地 〒321-14 〇二八八(五四)〇五三一</p>	<p>門跡 鈴木常俊</p>	<p>神戶市須磨区須磨寺町四一六番地 〒654 〇七八(七三二)〇四一六</p>	<p>真言宗須磨寺派 大本山須磨寺</p>

# 阪神・淡路大震災復興支援 せあ・はんしんは・あせ

淀川で 淀川から

## 大阪仏教救援センター

去る六月十七日、大阪市の東淀川高校を会

場に「さあ・はんしんは・あせ」淀川で、淀川から」というイベントが開かれた。同高校のある淀川区内の仮設住宅に住む被災者を応援する目的で、同区の人々と仮設住宅入居者が企画したイベントである。後援や協賛団体には全日本仏教会をはじめ、大阪青少年教化協議会やアユス関西、大阪仏教救援センター、淀川区仏教会などの仏教諸団体が名を連ねた。

このイベントの実行委員長でもある、アユス関西・副代表の服部隆志師（四十二才）に話を伺った。服部師はやはり同区内にある



服部隆志師

黄檗宗の自敬寺の住職である。

「大震災の発生から幾度となく神戸の方へ足を運びました。しかし、気がついてみたら自分達のすぐ近所に仮設住宅ができていて、そこに兵庫県から来た人たちが住んでいたのです。ところが、初期の段階で仮設に入られた人たちはみんなお年寄りなんです。高齢者を優先したから当然のことなんです。老人だけの街ができてしまった。震災で家族や財産を失ったうえに、見ず知らずの土地へ越してきて、隣近所も知らん人ばかり。野菜や生活用品を買いにくいにも、どこにどんな店があるのかもわからない。そんな状況だったんです。もちろん、今では若い人たちもたくさん入居されています。けれども、その人たちのコミュニケーションの場がないんです。子供たちの遊ぶ公園がないんです。」

そこで、仮設住宅に集会室用の巨大テントを設置し、花のプランターを配り、子供会を開いてきた。その積み重ねと信頼が今回のイ

ベントに花開いたといえよう。

震災直後に府仏、市仏、府仏青、市仏青、市仏社会福祉委員会、大青協、大阪仏教テレホン相談室とアユス関西の連合体として「大阪仏教救援センター」が結成された。急ごしらえの組織であったが、ずいぶんいろいろな救援活動をしてきていることは本誌でも紹介してきた。この日のイベントと全仏との関わりにも大阪仏教救援センターが大きな役割をはたしている。

同センターは、既存の組織では対応できないことがあっても、その中にいる人間が、新しく動いていけばいいという、仏教の柔軟な思想が具現化された象徴的な例ではないかと思う。もちろん、僧侶や仏教関係者だけで活動しようというわけではない。その地に生きる多くの人たちと共に、夢や情熱を共有して、こうとしているのだ。最後に服部師はこういって締め括った。

「先祖崇拜以外の役割で何かできないか、社会に関わっていけないかと以前から思っていたんです。経済的には布施収入が基盤となりますが、坊さんとしての活動は葬儀や法要だけに汲々としている必要はないわけで、地域の中で周囲の人々と一緒に、自分もひとり人間としていろいろな活動に参加していけたらいいなあと思っています。」

## 信教の自由に関する委員会

信教の自由に関する委員会が、さる六月十日午後一時より、明照会館会議室で開催された。委員会では、はじめに「首相及び閣僚の靖国神社公式参拝中止の要請」について審議し、本年も内閣総理大臣に対して提出することを決議した。

次いで昨今の「オウム真理教」の問題や、宗教法入法をめぐる社会の論議やマスコミ報道などについて広範に意見が出され、全仏として何らかの意思表示を検討すべき必要性が求められている時期にきているのではないかと認識が、多数の委員から示された。

### 首相及び閣僚の靖国神社公式参拝

#### 中止の要請

本会は「靖国神社法案」、首相及び閣僚の「靖国神社公式参拝」に対して、過去十四回にわたり、反対の意志表明を行ってまいりました。

靖国神社は、特定の基準をもって合祀の対象とした戦没者を祀る神社であり、純然たる宗教施設であることが明白であります。

したがって、一宗教団体である靖国神社に首相及び閣僚が公式参拝をすることは、どのような形式をとりましても、憲法に定め

る「信教の自由」「政教分離の原則」に背反することは疑いの余地がありません。

私たちは、戦後五十年という節目の年に当たり、これら憲法の規定こそ、今日の平和な日本の礎となっていることを、改めて確認したいと思えます。

戦没者の追悼は、国家が特定の宗教にかかわって行うべきものではなく、各ご遺族がそれぞれに真実と仰ぐ宗教によってなされるべきものであることは、当然のことであります。

本年も、まもなく「戦没者を追悼し平和を祈念する日」がまいります。首相及び閣僚が、靖国神社への公式参拝をされないよう、強く要請いたすものであります。

### 同和推進担当者連絡会

第四回同和推進担当者連絡会が、さる六月

二十二～二十三日まで、滋賀県の琵琶湖グラントホテルを会場に三十余名の参加者を得て開催された。はじめに、浄土真宗本願寺派基幹運動本部事務局部長の岩本孝樹師が「最近の宗教教団の差別事件について」というテーマで基調講演を行い、つづくフリートークの時間には参加者より活発な意見が出された。

出席宗派は、天台宗、天台真盛宗、天台寺門宗、和宗、真言宗豊山派、真言宗智山派、真言宗大覚寺派、真言宗善通寺派、真言宗御

室派、浄土宗、浄土宗西山深草派、西山浄土宗、浄土真宗本願寺派、真宗大谷派、真宗木辺派、時宗、融通念佛宗、臨済宗妙心寺派、臨済宗南禅寺派、臨済宗建長寺派、曹洞宗、日蓮宗、真言律宗。

### 阪神・淡路大震災復興

## 仏教界の動き

六月三十日現在集計

◆時宗では、宗内寺院・寺族・関係学校等に一四〇万余円を勧募し、藤沢市を通じて被災地へ二〇〇万円を拠出、宗内被災寺院に義援金を配分した。

◆曹洞宗国際ボランティア会では、六月十日の地球市民セミナーで震災救援活動の報告会を行った。

◆大阪仏教救援センター（府仏・市仏・府仏青・市仏青・市仏社会福祉委員会・大阪青少年教化協議会・大阪仏教テレホン相談室で構成）では、淀川区の仮設住宅入居者の支援活動を広範に行っている。

訂正 前号五頁の長谷川法律事務所  
の電話番号が間違っていました。正  
しくは〇三―三三三三―四五五四  
です。お詫びして訂正いたします。

# 中韓日仏教友好交流会議

五月二十一日から二十四日まで、中国の北京において中国・韓国・日本仏教友好交流会議が開催された。日本代表団は浄土門主中村康隆(下(本会会長))を名誉団長に六十余名で構成され、本会からは伊藤治雄理事長が相談役として参加した。

会議は二十二、二十三の両日にわたって国際会議場にて開会式、全体会議が開かれ、世界平和を追及する「北京宣言」を採択し、伊藤理事長の挨拶で閉会した。また、広濟寺で営まれた世界平和祈願法会では、三国の代表がそれぞれ導師を勤めて厳粛かつ盛大に法要が行われた。三国の仏教界代表者が一堂に会する記念すべき有意義な会議であった。



広濟寺の平和祈願法要に臨まれる中村会長と伊藤理事長

## 栃木県仏教会

### 終戦五〇周年追悼法要

六月三日、宇都宮市の栃木会館において栃木県仏教会主催の終戦五十年全戦没者追悼法要が行われた。式典にて本会の白幡事務総長が来賓として挨拶した後、駒沢女子大学教授の猿谷要氏が「歴史からみた終戦五十年の意味」との演題で講演を行った。

## ≡≡≡事務局録事≡≡≡

六月一日

三日 栃木県仏教会「終戦五〇周年全戦没者追悼法要」参列

六日 十二日 ネパール現地調査

十二日 宗教サミット準備会出席

十三日 東京都仏教連合会総会・研修会出席

十四日 信教の自由に関する委員会

十五日 局内会議

十九日 「日宗連」理事会

二十日 都道府県仏教会代表者会議

二十日 教化セミナー

二十二日 全仏大会打ち合わせ

二十二日 法律相談室

二十二日 二十三日 同和推進担当者連絡会

二十九日 同和委員会

三十日 真言宗智山派真福寺落慶式参列

## 東京都仏教連合会研修会

六月十三日、東京の築地本願寺において東京都仏教連合会の総会と研修会が行われた。研修会では「日本宗教界の近況(特に宗教法改正の動きと仏教界について)」とのテーマで、本会の白幡事務総長が約一時間にわたり講演を行った。

## 哀 悼

鈴木 龍珠師(元全仏副会長)

五月二十九日、八十四歳で遷化

元大阪府仏教会会長

花山 勝友師(全仏国際委員会委員)

六月十六日、六十三歳で遷化

前武蔵野女子大学副学長

森本 孝順師

六月十九日、九十二歳で遷化

律宗管長、唐招提寺長老

## 阪神・淡路大震災

### 義援金受付中

本会では義援金の勧募を行っております。左記の郵便振替口座へお振り込み下さい。

〇〇一三〇一六一三七六〇〇

全 日 本 仏 教 会